

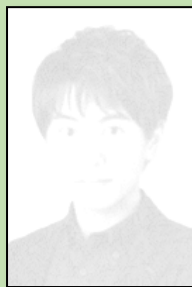
ブラームス没後 125 周年記念 若手演奏家支援 (シリーズ 9)
The 125th anniversary of Brahms' death.

ブラームス／ヴィオラの魅力

- プレトーク / ベートーヴェンとブラームス 西原 稔 (15) 2:15
● ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 Op. 58 2P版 (35) 2:50
Beethoven / Piano Concerto No.4 in G major Op.58 2P ver.
インタビュー・アンコール (10) 3:00
ソロP 選考中 オケP 選考中
————— 休憩 ————— (20) 3:20
■ プレトーク / ブラームスとヴィオラについて 西原 稔 (15) 3:35
● ブラームス / ヴィオラ・ソナタ 第1番 へ短調 Op. 120-1 (25) 4:00
Brahms / Viola Sonata No.1 in F minor Op.120-1
インタビュー・アンコール (20) 4:20

P. 金丸葉子 Yoko Kanamaru (JBS 海外会員 オランダ/R コンサートヘボウ管弦楽団ヴィオラ奏者)
P. 町田美弥子 Miyako Machida (桐朋大卒、マンチェスター北王立音楽院修士修了、故トトホーウイ、キルシュバウム等の
クラス伴奏者を経て 2012 年春帰国。現在東京芸大非常勤講師)

プレトークと監修 西原稔 (JBS 顧問 桐朋学園大学名誉教授)



P. 選考中



P. 選考中



Va. 金丸葉子



P. 町田美弥子



解説 西原稔

2022年12月25日(日) 2pm

チケット 一般¥5500 予価 会員¥5000 予価 学生¥3000

会場 駒場ピアノサロン ムジクピアフォーヌ 定員 70 席

京王井の頭線、駒場東大前駅・西口改札下車徒歩 5 分

■ ご注意 新型コロナ状況によりチケット枚数を制限する場合があります。
また状況により中止となる場合はご返金となります。

■ 後援 ハンブルク国際ブラームス協会、 米国ブラームス協会

■ お問合せ 日本ブラームス協会事務局

Tel/Fax 050-3648-0002 [jbs1973\(a\)jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973(a)jcom.home.ne.jp)

■ JBS-HP <http://japan-brahms-society.org>



- ピアノ () 選考中
- ピアノ () 選考中

●ヴィオラ 金丸 葉子 (かなまる ようこ)

5歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽科卒業後、ドイツへ留学。ヴァイオリンを原田幸一郎に師事。ヴィオラを店村眞積、今井信子、キム・カシュカシアン、ウオルフラム・クリストの各氏に師事。ドイツ学術交流会(DAAD)、文化庁海外派遣奨学金、ローム・ミュージック・ファンデーションより奨学金を授与される。プレミオ・ヴァレンティーノ・ブッキ国際コンクール、ブラームス国際コンクールの両コンクールヴィオラ部門で優勝。デビューCD「シャコンヌの情景」がレコード芸術誌にて準特選盤に選ばれる。2011年イタリア人作曲家 Alessandro Appignani より曲を献呈され、コル・レーニョよりCDがリリースされる。2014年ピアニスト、ダニエル・クラマー氏との演奏、武満徹「鳥が道に降りてきた」がコンサートへボウ室内楽CDにリリース。室内楽のレパートリーも広く、ヨーロッパと日本で多数のコンサートに出演。これまでにサイトウキネン・フェスティバルに参加。オランダのロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団ヴィオラ奏者、2012-2013年リンブルグ交響楽団第一ヴィオラ首席奏者を兼任。これまでにロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団、ベルギー室内フィルハーモニーなど首席奏者として客演。

●ピアノ 町田 美弥子 (まちだ みやこ)

桐朋学園大学音楽学部卒業後、ロンドンに渡りジェレミー・メニューインに師事。翌年マンチェスター北王立音楽院に入学、修士ディプロマコース及び演奏家コースを終了後、ジュニア・フェロー(特別研究員)として二年間、亡きロストロポービッチ、キルシュバウム等のクラス伴奏者を務める。在学中に奨学金を始め、リサイタル賞、シューベルト賞、コレペティ賞及び五賞を受賞、同音楽院オーケストラと三度の共演をする。第10回リブル・ヴァレー国際ピアノコンクール優勝。これまでにドイツ・バーデンバーデン交響楽団、フルツ管弦楽団、イギリス・マンチェスター・ベートーヴェン交響楽団と共演の他、ロイヤル・フェスティバルホール、ウィグモアホール等にソリスト・室内楽奏者として出演。オーストラリア・アデレード・チェロフェスト、ドイツ・ポーマツフェルデン音楽祭、イギリス・アベリストウィス音楽祭、ライデール音楽祭他に招聘される。マンチェスター北王立音楽院嘱託伴奏員、同ジュニア・スクール講師を経て、2012年春に帰国。現在、東京藝術大学音楽学部非常勤講師。

●解説 西原 稔 (にしはら みのる) JBS顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学名誉教授。同大学特別招聘教授。18,19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。著書に「音楽史ほんとうの話」「作曲家◎人と作品 ブラームス」「新編 音楽家の社会史」「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下巻(第26回ミュージック・ペンクラブ賞受賞)(以上 音楽之友社)のほか「新版 クラシックでわかる世界史」「ピアノ大陸ヨーロッパ」「ピアノの誕生」「クラシック 名曲を生んだ恋物語」「楽聖ベートーヴェンの誕生」「世界史でたどる名作オペラ」「ピアノの誕生・増補版」、また共著・共訳書に「ルル」「金色のソナタ」「西洋の音楽と社会⑦ロマン主義と革命の時代」「オックスフォードオペラ大事典」などがある。日本ブラームス協会(JBS)では2002年10月1日より顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その成果を年会誌『赤いはりねずみ』に発表している。